

\*\*\*\*\*  
第12期 町田市福祉のまちづくり推進協議会  
第31回 バリアフリー部会 会議録  
\*\*\*\*\*

【開催日時】2024年2月14日(水) 15時00分～16時30分  
【開催場所】町田市役所 2階 会議室2-2  
\*\*\*\*\*

【出席者】 会場参加13名 リモート参加5名 計18名  
佐藤克志、川内美彦、小池正貴、倉科大地、桑原一貴、平川浩二、戸部広行、日山幸宏、風間幸子、濱口裕子、本間美穂、飯長喜一郎、佐々木幸男、渡代真知子、川田勝也、大庭洋平、武山信幸、深沢香織

【欠席者】  
杉田千代美、松本大造

【傍聴者】  
0名

【事務局】  
北川淳一、山野上亮、安次富洋亮、佐藤励

【協力依頼部署・機関】  
いきいき総務課、堺図書館、地区街づくり課、福祉総務課  
\*\*\*\*\*

【会議次第】

1. 開会
2. 報告事項
3. 審議事項
4. その他

\*\*\*\*\*  
【報告事項】

改定素案に対する意見募集の結果について

【審議事項】

相原駅周辺地区バリアフリー基本構想(答申案)について  
\*\*\*\*\*

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 資料1 意見募集結果一覧
- ・ 資料2 相原駅周辺地区バリアフリー基本構想(答申案)
- ・ 当日配布資料1 特定事業計画の進捗状況の調査について

\*\*\*\*\*

【議事】

1. 開会

(1) 開会挨拶

-都市づくり部交通事業推進課長から開会のあいさつが行われた。

2. 報告事項

○改定素案に対する意見募集の結果について

事務局より資料1に基づき市民、部会員への意見募集の結果について説明された。

部会長	この資料では意見に対する方向性を示しており、これらの具体的な方向性が了承された後、内容を充実させて公表という手順になるという認識でよろしいでしょうか。
事務局	その様な認識で問題ないです。
A 部会員	6ページの部23の意見について、信号機の設置基準では時間帯による危険についても検討できると良いと思います。もし設置が難しいのであれば、安全確保のために人の流れを考える、周知等を行い改善の方法を検討していただきたいです。
B 部会員	相原駅西口ロータリーの交通量、人流が警視庁の信号機設置基準に達していないため、信号機の設置は見合わせています。基準を満たさない場合の設置は困難なため、了承いただきたいと思います。代替手段のご意見があれば検討したいと考えています。
C 部会員	相原地区の点検をして、視覚障がい者が歩くのには不便だと感じました。視覚障害者誘導用ブロックが少なく、道路もでこぼこしており堺市民センターや堺中学校もどこが入口かもわからないので、できるだけ早く改善していただきたいです。視覚障害者誘導用ブロックの色がわかりにくいという意見は他地区においても声があるので町田市として基準を作っていたら、作った後に交換する必要もないのではないかと思います。また、信号機について、朝8時から夜6時あたりまでで音声が止まってしまう、都心に通勤し、1人で8時、9時に帰る視覚障がい者の方に不自由が生じているので、どこでも歩きやすくなるように考えていただきたいと思います。
事務局	今回市民意見募集でも弱視の方から意見をいただいております、道路整備の部署とも共有して特定事業の中で進めていきたいと考えています。信号機についても特定事業の中で検討できればと考えています。
部会長	それでは意見に対する方向性については了承いただいたということで、事務局としては準備を進めていただきたいと思います。

### 3. 審議事項

○相原駅周辺地区バリアフリー基本構想(答申)について

事務局から資料2に基づき説明

職務代理	駅員のいない時間があり、助けが必要な際対応が心配との意見がありますが、これに対する対応はソフト対策事業にする必要があるのではないのでしょうか。今後人員は減らされる方向になるかと思いますが、意見に対してどの様に対応するかの記載が必要だと思います。
事務局	以前まち歩きの結果を JR 様に共有させていただいた際は、「インターホンがあり、要件を伺い次第事務室の係員等の手配を速やかに行う」という対応をご回答頂いております。
職務代理	それではこれはソフト対策事業に追加していただきたいと思います。また、インターホンは聞こえない人には使えないため、聞こえない人が来た場合どのように対応するかも考える必要があると思います。
D 部会員	インターホンを押していただいて、そのまま発言がない際には不自由な方が対応していると認識をして駅に駆けつけるといった案内になります。
E 部会員	今までの経験としてインターホンを押しても中々来てもらえないことが何回もあり、来ていただいても何回も言ったと怒られ怖くて話せなかったという経験が何度もあります。聞こえなくても安心して暮らせるようにしてほしいと思います。やはり顔を見て筆談をしていただける様な対策をとっていただきたいと思います。
部会長	この改善方法についてはこの場では結論は出ませんが、大きな課題であるため JR も従業員と相談しながら適切な対応を検討頂ければと思います。
職務代理	ソフト対策事業にどの様に対応するかを加えることと、例えばインターホンを押すと同時に係員が向かっていますという文字が出る装置の設置等、誰かが対応していることが伝わるような対策を加えていただきたいです。
事務局	1点補足させていただきます。前回のバリアフリー部会でもこの点についてご意見をいただいております。その場での回答は難しいということで「お客様とのインターホンを介したやり取りの中でコミュニケーションが取れない状況が確認できた場合には、聴覚障害のあるお客様である可能性も考え、現地の駅係員等に連絡を取って対応を行うなど、可能な限りの対応を行う」という回答を後日いただいております。この内容といただいた意見を併せて調整できればと思います。 ※その後、倉科部会員と調整を行い、ソフト対策事業に追加した。
C 部会員	駅のインターフォンのボタンについて、視覚障がい者はボタンの位置がどこにあるかがわからず、駅員さんにインターフォンを介して、どこを押してほしいと言われても、難しいです。駅員がいない駅が多くなってくると改札を出ることができず、どのようにしたらいいのかわからないため、対応がで

	<p>きる様に町田市と話をしてほしいと思います。</p> <p>また、神奈川中央交通バスについて、乗ろうとした時にバスと歩道の間が空いていてとても危険なことがあります。バスの停まる位置については町田市内の他のバス停でもしばしばそのようなことがあるため、運転手さんに徹底してほしいです。あと1点、バスが来てもどこに乗るか、どのバスかがわからないです。スピーカーで言ってくれば乗ろうと思えますが、アナウンスが無くエンジンが止まっているとバスがいることすらわからないです。</p>
A 部会員	<p>26ページの公共交通特定事業について、ホームドアの設置は長期となっていますが、どのような順番でどのような所から優先で作っていくかを記載いただけると嬉しいです。</p>
事務局	<p>基本構想上の取り扱いでは正着について、ハード面の低床バスの話と合わせて少しでも障がいのある方も乗りやすくなる様に記載させていただいています。乗り場の案内についてそのような意見はいただいているため、情報を共有してバス事業者と今後よりいい案内の仕方を考えて実践していきたいと考えています。基本構想の中に追加することはタイミングとして難しいですがご理解いただきたいです。</p>
D 部会員	<p>ホームドアについて、長期というのはホームページの方でプレスをさせていただき、横浜線については首都圏の主要な路線ということでホームドアを優先的に整備する駅として定めています。2031年度までに整備することを目指し現在計画を進めているところであり、その中の整備の順番としては車両の形式、ドアの位置、ホームの構造等の整備のしやすさを考えて順番をつけていくこととなります。</p>
事務局	<p>今回示している基本構想については特定事業を一覧表の様な表現にしており、内容が固まった後個別の特定事業計画を施設設置管理者の方に作成していただくこととなります。ホームページでの公表を検討しているため、この冊子への反映は出来ませんが、またその際は案内をさせていただきます。</p>
部会長	<p>それでは今後の答申案の進め方について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本日17時から開催の福祉のまちづくり推進協議会にて部会の結果を報告し、いただいた意見を併せて説明をした上で議論を行い、審議結果に基づき3月18日に答申をいただく予定となっています。その内容については3月中を目途に基本構想の冊子と市民意見募集結果のホームページでの公表を予定しています。</p>
部会長	<p>では3月18日の市長への答申に向けて最終案の準備を行いたいと思います。続きまして事務局から案内があるということで説明をお願いします。</p>

事務局から当日配布資料1に基づき説明

部会長	特に質問がないため、今後何か分からないことがあれば事務局にお伝えいたしたいと思います。
-----	---

4. その他

部会長、都市づくり部交通事業推進課長から挨拶が行われた。

以上